


審査結果報告書

2019年8月28日

主査 氏名 宮下 俊之 

副査 氏名 阿古 圭朗 

副査 氏名 岡本 浩司 

副査 氏名 鳥井 晋三 

1. 申請者氏名 : 栗田 聖子
2. 論文テーマ : Thyroid Function in Patients With a Fontan Circulation.
(Fontan 循環における甲状腺機能の病態生理)
3. 論文審査結果 :

本研究は Fontan 術後慢性期の甲状腺機能について検討したものである。Fontan 術後慢性期の患者で潜在性甲状腺機能低下を認める症例が 33%存在し、CVP の上昇と相関を認めた。

その結果、Fontan 循環における CVP の上昇の結果甲状腺機能低下を起こしていることが示唆された。また、FT3 の低値が心収縮能、拡張能の低下と関連しており、甲状腺ホルモンの異常が Fontan の心血管機能に悪影響を及ぼしていることも明らかにした。

Fontan 術後慢性期の甲状腺機能についての研究は新規性が高く、Fontan 術後患者が成人期を迎えるようになった今日、患者の経過観察や治療に有益な示唆を与えるものである。

学位論文審査委員会においては、入念に準備したうえで、わかりやすい発表を行い、主査、副査の質問にも的確に対応できた。

以上のことより、本研究は博士学位論文に相応しいものと判断した。